

# とこなめ市議会だより

NO. 156

令和3年2月1日 編集/発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4丁目1番地  
TEL : 0569-47-6128 (直通)  
E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



とこなめ障がい者相談支援センター



とこなめ地域ねこの会



530とこなめ

第8回議会と語る会を開催(令和2年12月14日(月))  
「とこなめ障がい者相談支援センター」「とこなめ地域猫の会」「530とこなめ」の3団体をお招きし、各々の活動や課題、今後の展開や議会に望むことなどをスピーチしていただきました。その後、議員と質疑や意見交換を行いました。詳細は次号へ。

参加団体からいただいた意見を踏まえた要望事項を取りまとめ、市長に提出する予定です。

## 〈目次〉

- 一般質問(市政を問う)…………… P2～P6
- 委員会活動報告…………… P7
- 臨時会、定例会、協議会報告…………… P8

代表・一般質問等の模様は3月2日(火)・8日(月)・9日(火)の午前9時30分から(録画放送は午後7時から)ケーブルテレビ(CCNC)で放送予定(再放送は3月14日(日)午前9時から)

## 第1回市議会定例会会期日程(案)

- 3月2日(火) 開会、施政方針演述・代表質問、議案上程・説明
- 8日(月)・9日(火) 一般質問
- 10日(水) 議案質疑、委員会付託(補正予算)、予算委員会(補正予算)
- 11日(木) 予算委員長報告、質疑、討論、採決(補正予算)、議案質疑、委員会付託、経済建設委員会
- 12日(金) 文教厚生委員会
- 15日(月) 総務委員会
- 16日(火)・18日(木) 予算委員会
- 22日(月) 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会



常滑市議会に関する定例会、委員会、協議会及び議長公務等の情報を中心に発信しています。



左記QRコードから市議会HP及びフェイスブックに簡単にアクセスできます。



一般質問録画映像  
配信中



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」をスマートフォンやタブレット端末に配信しています。

# 一般質問 (市政を問う)

議員名の横または下にあるQRコードを読み取ると、各議員の質問映像をYouTubeでご覧いただけます。

## 問 3歳児健診での視力検査に屈折検査機器の導入を

答 小児科医など専門家からも意見を聴き検討する



加藤代史子  
議員



## 問 ゼロカーボンシティについて

答 今後策定する実行計画である区域施策編に基づき、市内全域における地球温暖化対策を進めるタイミングで表明していく。

問 新市庁舎をZEB（エネルギー収支ゼロを目指した建築物）とする考えはあるか。

答 空調・照明設備等で省エネルギー対策を実施、太陽光発電も予定している。

## 問 コロナ禍での産後うつ対策について

答 母子健康手帳交付時から個々に対応している。パパママセミナー等では感染に注意し実施した。エジン

問 コロナ禍での「産後うつ」への対応はどうか。

## 問 アカモクの知名度上昇となるPRをすべきでは

答 市の特産品として積極的にPRしていく



大川 秀徳  
議員



## 問 アカモク振興について

問 市の特産品としての知名度が常滑焼・ノリと同様になるよう、アカモクをPRすべきではないか。

答 市の特産品として積極的にPRし、事業者が必要な支援を行う。

問 小中学校の授業等でアカモクについて学ぶ機会はあるか。

答 社会科や栄養教諭による食の指導でアカモク等の地域産物を学ぶ機会を作っている。また、給食では必ず月一回、アカモクの献立を提供している。

問 アカモクを常滑市民病院の病院食に使えないか。

答 豊富な栄養分で健康な人にはばらばら食品だが、一部の患者には適さない場合もあり、高齢者向け病院食への使用は難しい。年数回の行事食の特別メニューでの使用や、職員食堂での使用等により患者や職員



## 問 常滑焼振興の事業について

問 来年以降も常滑焼応援クーポンを発行してほしいという市民の声が多いがどうか。

答 新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金を活用した事業であるため、来年の発行は現在考えていないが、その時の社会情勢等で判断したい。



屈折検査機器  
出典：公益社団法人日本眼科学会「図医のための眼科健診マニュアル」

## 問 スマートフォンを活用した投稿システムについて

問 スマートフォンを活用した投稿システムの早期導入実現についてどう考えるか。

答 システム使用料など費用対効果に課題がある。今後調査研究していく。



常滑焼まつりの様子

令和2年第4回市議会定例会の一般質問は、12月9、10日に12人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

**問** 職員室での感染症対策は

**答** 文部科学省作成のマニュアルに沿って実施



坂本 直幸  
議員



新型コロナウイルス感染症の影響について

**問** 幼保こども園、小中学校で複数の職員が新型コロナウイルスに感染した場合の対応策はとられているか。

**答** 幼保こども園では、応援職員の体制ができています。小中学校は各学校内の職員で対応する。

**問** 児童生徒が感染者や濃厚接触者となった場合、児童生徒との連絡方法は定められているか。

**答** 感染リスクを避けるため、基本的には電話連絡とする。また書類は郵送し、一斉メールなどを行っている。

**問** 消防職員が感染または濃厚接触者となった場合、応援職員が必要となるのか。また、その対策はどのように考えているか。

**答** 職員全体の15%程度までの感染であれば、現状の業務継続が可能と考えている。陽性者又は濃厚接触者数に応じて変わるため、段階的な対応ができるように計画している。



**問** 有意義な国際交流計画を期待するがどうか

**答** 子どもたちの文化交流を推進



伊奈 利信  
議員



友好都市提携による国際交流について

**問** 令和2年度の交流計画を問う。

**答** 令和2年度は宜興市側の政府訪問団を招き入れる計画で調整していたが休止となった。焼き物の技術交流、子どもたちの文化交流、病院の医療交流等を考えていた。

**問** 今後の国際化を含めた交流計画を問う。

**答** 現時点では令和3年度の計画を調整することができない状況だが、観光業者のモニターツアー、民間企業の交流促進、子どもたちのリモート交流、スポーツ交流など可能性を含めて検討していく。国際化については、特に子どもたちの文化交流は大切と考える。宜興市だけではなく、既にながりのある他都市との交流も支援しつつ、産業や観光等の分野へ広げていきたい。

**問** 宜興市は食の分野でも大きな市場と考える。地元の農水産物であるノリやアカモクなどを売り込めないかを問う。

**答** 国際交流を土台として農水産物を売り込める可能性も十分あると考える。



**問** 安心生活検討会の市HPが未更新だが

**答** 事業が社会福祉協議会に移行したため



伊藤 直  
議員



高齢者支援事業について

**問** 安心生活検討会の市HPの内容が平成30年以降更新されていないが、理由は何か。

**答** 事業が社会福祉協議会に移行したためであり、活動内容は社会福祉協議会のHPに載っている。今はリンクを貼って市のHPから活動内容のページに飛ぶようにした。

**問** 高齢者用サービスの利用率を見て市としてはどのように感じ、どのように分析しているのか。

**答** 優れたサービスを色々な人に利用して頂くために地域包括支援センター、ケアマネジャー、事業対象者などと連携して利用率アップに努めていきたい。実際に利用者ゼロの事業もあるので、引き続き市のHPや広報とこなめなどを利用して周知に努めていきたい。

**問** 見守りキットの累計配布数は。

**答** 正式名「救急医療情報キット」と呼ばれるもので無料配布している。累計は932件、そのうち救急で実際に活用した数は79件である。



## 一 般 質 問 (市政を問う)

議員名の横または下にあるQRコードを読み取ると、各議員の質問映像をYouTubeでご覧いただけます。

### 問 ふるさと納税の今後の取組は

**答** 常滑市の魅力発信に取り組み体制を作る



中村 崇春  
議員



ふるさと納税の現状と  
今後の取組について

**問** 寄附金の活用事例は。

**答** 鈴深資料室の整備、やきもの散歩道景観保全の助成、アイアンマンリース開催、市内小中学校全普通教室のエアコン設置、市民病院へのコロナ緊急支援等である。

**問** 事業者との意見交換や新規の返礼品出品はどうか。

**答** 意見交換は、ふるさと納税制度の相談や新規返礼品の提案時に個別に実施している。新規の返礼品出品は、平成30年度は57品目、令和元年度は52品目、令和2年度は21品目を追加した。

**問** 事業者の新たな取組に対する市の支援はあるか。

**答** より魅力的な返礼品を提案できるよう支援していく。

**問** ふるさと納税の今後の取組や

シティプロモーションへの活用はどうか。

**答** 地元業者との連携や精神的な取組ができる体制にしていく。また、ふるさと納税制度は、地域

の魅力発信に役立つためシティプロモーションに活用できる。さらに、人が集つまちづくりにつなげていく。

小中学校や  
幼保こども園の式典について

**問** 市内小中学校の卒業式や入学式の方針はどうか。

**答** 基本方針は教育委員会が既に示している。最終的な方針は、各校で判断し、教育委員会がそれを了承する。

**問** 市内幼保こども園の卒園式や入園式の方針はどうか。

**答** 参加人数の抑制と式典の時間短縮を考えている。しかし、式典に参加できなかった保護者についても配慮を考えている。



### 問 まちの文化水準を表す市立図書館の将来像は

**答** 第6次総合計画に位置付ける予定である



西本 真樹  
議員



新型コロナウイルス感染症対策について

**問** PCR検査について、市が率先して医療機関や介護・福祉施設等での社会的検査を行うべきと考えるがどうか。

**答** 県がドライブスルー方式の検査場を6か所設置した。現在は地域の医療機関に直接電話で治療検査が受けられるようになったため、市は率先して行わない。

自衛隊への住民基本台帳の  
情報提供について

**問** 自衛隊は2019年度まで住民基本台帳の閲覧をしていた。2020年度から、市民情報を提供するようになった。承諾なき情報提供は止めるよう求めるがどうか。

**答** 自衛隊法施行令・市個人情報保護条例に基づいた適切な対応と考える。

第8期介護保険事業計画について

**問** 2021年度から新たな計画が始まる。保険料基準額は月額5,400円だが積立基金等を使って、保険料を下げることができないか。

**答** 3年ごとに必要な介護サービスの財源のうち、23%は介護保険料で賄う。保険料基準額は3年間の事業運営に影響があるため、保険料抑制のための基金取崩しは様々な条件下で分析中である。

今後の市立図書館のあり方について

**問** 図書館本館は2021年9月に閉館が決定している。分散移転による貸出業務や蔵書の除籍はどうするのか。

**答** 常滑地区では、文化会館で予約貸出ができるようにする。除籍の基準は教育委員会が計画を策定した。

**問** 図書館の将来像は。

**答** 市民に意見を聞く場を設け、第6次総合計画に位置付ける予定である。



令和2年第4回市議会定例会の一般質問は、12月9、10日に12人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

## 問 脱炭素社会への取組は

答 常滑市第6次総合計画へ反映させる



成田 勝之  
議員



### 脱炭素社会に向けた取組について

問 常滑市ではどのような取組がなされ、その効果はどうか。

答 市内全域が対象の「地方公共団体実行計画区域施策編」の策定に向けて検討を始めた。常滑市公共施設の温室効果ガス排出量削減は「第4次常滑市庁内環境保全率先行計画」において実施している。令和元年度では平成28年度比で7%削減し、順調であると認識している。

問 長期的な考え方や指針はどうか。また、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ表明を検討すべきと思うがどうか。

答 2030年度までに区域施策編を策定し、指針も合わせて検討する。ゼロ表明はこの計画に基づいて温暖化対策を推進していくタイミングです。

問 公共施設改修時に省エネルギー機器を導入しても職員が重要である。見える化をして効果を上げてほしいがどうか。

答 率先行計画の見える化や結果をHPで公表する事は大切である。



## 問 不登校特例校を開校する考えはあるか

答 知多管内共同での開校を将来的には検討



渡邊 十二香  
議員



### 常滑市の不登校の児童生徒について

問 全国の不登校の児童生徒が令和元年度約18万人と過去最多である。国は従来の「学校に戻す」から「多様な学びの場を選ぶ」へ方向転換を図ってきた。本市の不登校児童生徒の割合は県及び全国の平均に比べてどうか。

答 令和元年度は、小学校では、全国0.8%、県0.9%、本市0.8%である。中学校では、全国3.9%、県4.1%、本市4.2%である。

問 不登校及び不登校傾向にある児童生徒への対策はどのように行っているか。

答 担任教師が児童生徒の状態や悩みを把握し、スクールカウンセラーが定期的に学校を巡回、児童生徒・保護者・教師の相談を受けている。さらにスクールソーシャルワーカーが児童生徒を取り巻く環境に多方面から働きかけている。

問 適応指導教室での多様な学びの提供はどのようにしているか。

答 今後はICTを活用した学習支援やフリースクールへの通学等、それぞれの可能性を伸ばせるような支援の検討が必要であるときえる。



## 問 重度難聴者の人工内耳に助成を求め

答 令和3年4月から助成する



盛田 克己  
議員



### 重度聴覚障がい者の人工内耳装着への助成を求める

問 人工内耳装置とはどのようなもので、装着者は市内で何名いるか。

答 体内に埋め込んだ体内装置と体外装置のサウンドプロセッサから構成され、内耳の損傷を受けた部分に代わって脳に音の信号を送る働きをするもの。市内に6名いる。

問 体外装置は耐用年数5年。費用は片耳で100万円以上かかり、また電池等と合わせるが高額な負担であるが、なぜ助成されないのか。

答 人工内耳は医療用材料のため。これまでは、障害者総合支援法における自立支援給付の補装具の対象外だが、令和2年4月から体外装置の修理は対象となった。

問 障害者基本法、障がい者差別解消法にて、正常者と同等の生活保障や平等な支援をすることと定められている。他市町で既に助成されているがどうか。

答 財政状況や他市町の状況を考慮し、障害者総合支援法における地域生活支援事業の日常生活用具の対象として、実施できるよう考える。

## 一般質問（市政を問う）

議員名の横にあるQRコードを読み取ると、各議員の質問映像をYouTubeでご覧いただけます。

### 問 病院の経営改善の効果額はどれくらいか

答 4年で8億円の削減見込み（コロナ前予測）



井上 恭子  
議員



市民協働の大切さを  
職員、市民へ啓発を

問 市民協働推進委員会は、他の委員会にはない「会長の許可を得る」という傍聴要綱を作っているがなぜか。

答 他市町の事例を参考にした。また、市議会の委員会条例第18条の中でも委員長の許可とあるので加えた。

コロナ禍における  
財政健全化に関わる情報を市民に

問 新市庁舎建設にあたり、財政の悪化を考えると、複合化を阻止したのも4階から3階にと声を上げたのも市民である。市民に令和3年度予算案の公表を早めにして、市民の意見を反映できるシステム作りをしてほしいがどうか。

答 予算編成過程を12月に市民に公表したり、市民が議論する市町村も

あまりないので現時点で公表しない。  
問 市民病院は令和2年度繰入金6億円、ふるさとづくり事業基金が5.3億円入れている。令和2年度、令和3年度の医業収益はどれだけ落ち込むか。

答 令和2年度は9億7,000万円の減収予測であるが、国等からの補助金で何とか賄える。令和3年度は3月議会で示す。



常滑市民病院

セントレアに対する市長の  
考え方について

問 セントレアは財政面においても、まちの発展においても重要な施設である。セントレアに対する市長の想いを問う。

答 市民の皆様の安全安心を安定させるためには成長が必要である。それを担うのがセントレアであるので空港を元気にし、常滑を発展させていく。

### 問 再度、とこめし応援券を販売できないか

答 今の市場動向は、販売する状況ではない



相羽 助宣  
議員



新型コロナウイルス感染症対策、  
関連支援事業について

問 とこめし応援券事業は、市内飲食事業者支援を目的としたプレミアム付応援券の販売であり、5月に短い申込期間に関わらず完売した。現在は第3波の感染拡大に伴い、飲食店は一段と厳しい経営環境にある。そこで、第2回目の応援券を販売すべきと考えるがどうか。

答 現在の感染拡大状況による市の市場動向は、販売すべき状況ではないと考えるが、市内業者からの景気動向の聞き取り調査、また今後の感染拡大状況を鑑みて検討したい。

市内の公共施設へ  
ストリートピアノ（街角ピアノ）  
の設置について

問 新庁舎・市民文化会館・各公民館・体育館等に設置できないか。

答 滞在型の場所であることや、施設の利用者が使用料を納入し利用する施設であることから、ピアノの音などにより施設の利用に支障がでる恐れがあり、設置は困難であると考ええる。

問 文化会館自主事業「大ホールひとりにじめ、スタインウェイ・ピアノリサイタル」の状況について問う。  
答 年3回、一セット30分1,000円、一人4セットまで利用でき、大ホールで名器が弾けるといって大好評である。



スタインウェイを使用した演奏会

## 文教厚生委員会 活動報告・令和2年12月16日(水)

### 新学校給食共同調理場におけるアレルギー対応について

学校給食共同調理場長より、アレルギー対応についての勉強会がありました。

本市では、食物アレルギーを持つ児童生徒にも、給食時間を安全に、かつ楽しんで過ごすことができるように給食を提供しています。しかし、現在の学校給食共同調理場では、アレルギー専用調理室などの施設・設備が整っていないため、給食の使用食材に関する詳細な資料の提供と、一部の単品代替食(牛乳↓お茶、プリン・ヨーグルト等↓ゼリーなど)を実施しています。

食物アレルギーを持つ児童生徒はここ数年増加傾向にあり、アナフィラキシーショックなど生命の危険を伴ったため、学校給食では特に十分な対策が必要になります。

新学校給食共同調理場の方針として、施設・設備面では、食物アレルギー対応食を調理できる専用の調理室を整備していきます。

給食の提供方法については、児童生徒と一緒に給食を楽しめる対応として、



北学校給食共同調理場

代替食と除去食があります。代替食は、児童生徒が抱えるアレルギーにごとに献立を作成し、調理を行います。除去食は、卵や乳製品・小麦などのアレルギーを含む食品を加えない調理方法です。本市では、除去食の対応を進めます。代替食は、新学校給食共同調理場の稼働後に栄養教諭や調理従事者等への負担をみながら、導入可能性について検討していきます。今後、「(仮称)食物アレルギー対応検討委員会」を設置する方向性も示されました。

## 総務委員会 活動報告・令和2年12月17日(木)

### 瀬木区自主防災会について

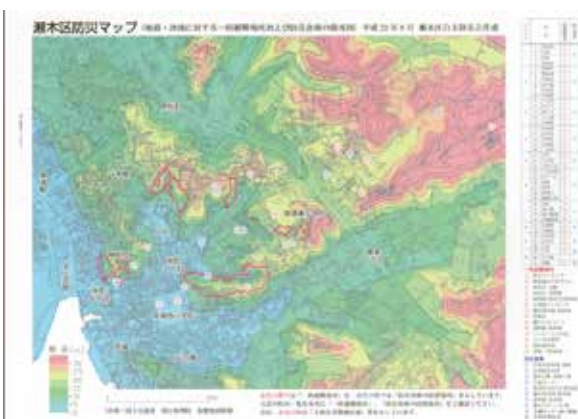
総務委員会勉強会を開催し、瀬木区自主防災会について、同会運営委員長藤井氏にご講演いただき、その後、質疑応答を行いました。

南海トラフ地震への心構えは、地震発生後に最短で54分後に津波の第一波到達、72時間で生存率が急激に減少、72時間は行政の支援は得られない、と3項目あります。

瀬木区自主防災会では、①72時間を地域でどう生き抜くかを自ら考え実践、②区民の安否確認を速やかに実施、③そのために必要な訓練と防災備品の備蓄を行うことを目指して11年間歩んできました。

東日本大震災発生後には2つの委員会を設立しました。

防災マップ作成委員会では、『瀬木区防災マップ』と『津波被害予測地図』の2つの地図を作成し、瀬木区全戸に配布しました。作成過程で、町内独自の一時避難場所を自ら話し合いで決めました。これは市指定の場所ではなく、各町内で決めた場所で区域内に14か所あります。



瀬木区防災マップ

防災訓練委員会では、訓練内容を検討し、『一時避難場所への避難訓練』、『安否確認』、『集合訓練』、『瀬木区本部設置訓練』を実施しました。2018年には、『瀬木区防災計画』を作成し、平時時と地震発生時における具体的な行動指針を示し、自主防災会と瀬木区役員の役割を明記しました。行政が主体で取り組んで欲しい事として、①市と区の関係といった行政の連携、②他地区、他団体との連携、③南海トラフ地震発生直後の避難行動要支援者への対応があげられました。

# 令和2年 第3回市議会臨時会審議結果 (11月30日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決されました。

議案名	会派名 議員名	常 翔 会																	
		維	共	公	あ	笑進	新風	大川	中村	都築	伊奈	稲葉	相羽	伊藤	盛田	川原	加藤		
		山田	西本	加藤	成田	渡邊	伊藤	坂本	井上	大川	中村	都築	伊奈	稲葉	相羽	伊藤	盛田	川原	加藤
議案第58号	常滑市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	常滑市特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	常滑市職員の給与に関する条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	常滑市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 令和2年 第4回市議会定例会審議結果 (12月8日～12月21日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決、同意、異議ない旨答申されました。

議案名	会派名 議員名	常 翔 会																	
		維	共	公	あ	笑進	新風	大川	中村	都築	伊奈	稲葉	相羽	伊藤	盛田	川原	加藤		
		山田	西本	加藤	成田	渡邊	伊藤	坂本	井上	大川	中村	都築	伊奈	稲葉	相羽	伊藤	盛田	川原	加藤
議案第64号	令和2年度常滑市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	令和2年度常滑市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	令和2年度常滑市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	令和2年度常滑市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	令和2年度常滑市常滑駅周辺地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	令和2年度常滑市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	令和2年度常滑市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	令和2年度常滑市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	令和2年度常滑市病院事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	西知多道路整備事業に係る青海グラウンド代替施設等整備基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	常滑市税外収入に係る延滞金に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	常滑市温水プールの指定管理者の指定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第21号	常滑市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第7号	防災・減災、国土強靱化の推進に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第8号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

会派名の略 維…常滑維新の会 共…日本共産党議員団 公…公明党議員団 あ…新政あいちとこなめ 笑進…笑進会 新風…新風クラブ

## 市議会協議会

市政に関する重要な問題を全員で調査研究し、市政運営の円滑な推進を図るため、市議会協議会を開催しました。10月、11月、12月の開催状況と提出された主な案件は次のとおりです。

### 第10回協議会

(10月27日開催)

○スマートフォン決済アプリの新規導入について(市税・水道料金等)

○とこなめ陶の森資料館展示リニューアルについて

### 第11回協議会

(11月25日開催)

○常滑市陶磁器会館の運営について

○「常滑市観光戦略プラン2022(仮称)」の策定、及び今後の観光施策の進め方について

### 第12回協議会

(12月21日開催)

○半田病院との経営統合に係る常滑市の支援策について